

2019政策フォーラム⑦

第2セッション：安全・健康・ゆとり・働きがい

実現するための検証運動の強化

○働きやすいミライの検修職場をつくるためには

千葉地本：幕張車両センター分会・京葉車両センター分会

「グループ会社と一体となった業務執行体制のさらなる推進」による業務委託から7年が経過しました。グループ会社ではプロパー社員の育成にも力を入れていますが、定着せず離職するプロパー社員も出ています。その背景はなぜなのか。また、出向者の働きがいの向上についても問題提起を行います。さらに、「ミライの車両S&E」も出され、検修職場の今後についてや、キャリアプランの描き方についても変わっていくことは間違いないことから、「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある検修職場の在り方について提起します。

施策に立ち向かい、自らどういう職場を創り出していくのかを
主体的にかんがえなければなりません

○お客さまと乗務員が安全・快適で満足できるワンマン列車と環境を創ろう！

仙台地本：地本プロジェクト

中・長編成ワンマン運転の拡大が7月24日に提案されました。ジョブローテーションで今後のワンマン列車の位置づけが大きく変化し、今まで以上に私たちの負担が増加します。そのワンマン列車を、働く者の視点から安全で働きがいのあるものを創造し、サービスの向上でお客さまが利用しやすいものにしていきます。支社実行計画に記載されている2019年度ダイヤ改正での黒磯～新白河でのE531系中編成ワンマン運転の開始に向けて様々な問題点の解決や、設備や制度の見直しでワンマン運転の環境を整えます。



質疑では新潟地本清水業務部長の
肉付けにより議論が深まる！！

⑧へ続く